

# 報告

## 2016 年度中四国地区

### 「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会

小田 玄（修道中学校・高等学校）

#### 1. はじめに

「大学では宇宙について学ぶのもおもしろそう」、「天文や宇宙の研究をしてみたい」と考えている中四国の高校生や関係者を対象に、宇宙の研究をしている大学教員がそれぞれの大学の特色を紹介する第8回の中四国地区の合同説明会が岡山商科大学附属高等学校にて開催された。

#### 2. 準備

##### 2.1 これまでの経緯

2008年に全国に先駆けて岡山県で開催されたのが第1回目であった。その後下記のように中四国地区持ち回りで開催し、今回が3回目の岡山県開催である。

- ・岡山大学 2008年 6月 22日（日）
- ・広島市こども文化科学館  
2009年 7月 4日（土）
- ・広島市こども文化科学館  
2010年 11月 28日（日）
- ・徳島大学 2011年 12月 3日（土）
- ・岡山理科大学 2013年 6月 15日（土）
- ・河合塾広島校 2014年 8月 30日（土）
- ・愛媛大学 2015年 11月 8日（日）
- ・岡山商大附属高校  
2016年 7月 24日（日）

##### 2.2 準備

年度当初より広島大学の川端弘治さんが中心となって、メーリングリストで連絡を取り合いながら準備を進めた。日程は、これまでの経験から、最も高校生が集まりやすいと思われる日程として、6月を中心に検討した。しかしながら、今年度は岡山で

インターハイが開催されるためなどの関係で制約が多く、結局7月24日開催に落ち着いた。会の主な流れや参加大学の決定などは、川端さんと岡山商科大学附属高等学校の畠さんが中心となってまとめた。

参加者の募集案内は、岡山県、広島県で、それぞれの県の担当者がそれぞれのネット等を用いて県内各高校に行った。特に開催県である岡山では、岡山大学の作田誠さんらの取り計らいにより、物理の教員のネットで各高校にくまなく案内が回ったようである。さらには地元情報誌の「リビング新聞」にも情報が掲載された。また、広島大学のサーバーにホームページを設けて案内を載せた。以下はそのチラシである。

#### 2016 年度 中・四国地区 「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会

「大学では宇宙について学ぶのもおもしろそう」「天文や宇宙の研究をしてみたい」  
 そのように考えている高校生や関係者を対象に、宇宙の研究をしている大学教員がそれぞれの大学の特色を紹介する中四国地区の合同説明会を、岡山商科大学附属高等学校にて開催します。オープンでくつろいだ雰囲気での説明会を予定していますので、近年の就職や進学の状況など、気になることがあれば気軽に聞いて下さい。石野宏和氏（岡山大）、大野雅功氏（広島大）による注目の「重力波」をテーマにしたミニ講演会も行われます。興味のある方のご参加をお待ちしています。

日時 2016年7月24日(日) 13:00-15:30 (開場 12:30 予定)

場所 岡山商科大学附属高等学校 図書館2階

<http://www.osu-h.ed.jp/about/location.php>

※会場へはできるだけ公共交通機関でお越しください

会費 無料 (事前申し込みは不要です)



合同進学説明会 HP

##### プログラム:

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 ミニ講演会 「さあ、重力波！～重力波と宇宙研究の今、そして未来～」  
1. 重力波はどこからやってきたか？～ガンマ線で探る重力波対応天体  
大野 雅功 (広島大学 助教)
- 2. 科学衛星 LigoBIRD で探る原始重力波  
石野 宏和 (岡山大学 准教授)
- 13:45 宇宙が学べる大学の個別紹介  
(休憩・ブース設置)
- 14:45 ポスターセッション・個別面談
- 15:30 閉会・解散

参加予定大学: (順不同)

岡山大学、岡山理科大学、広島大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知工科大学、  
工学院大学、兵庫県立大学、ほか

主催: 中国四国地区・天文宇宙を学べる大学合同進学説明会実行委員会

共催: 天文教育普及研究会中四国支部

世話人: 畠 浩二 (岡山商科大学附属高等学校)、川端弘治 (広島大学)、作田 誠 (岡山大学)

お問い合わせ先: 畠 浩二 E-mail: [khatuassentorprise@sc.suoune-net.jp](mailto:khatuassentorprise@sc.suoune-net.jp)

### 3. 当日の様子

開会の挨拶の後、ミニ講演会が実施された。これが今回の目玉の一つで、今、巷で話題の「重力波」に関わる講演で、「さあ、重力波！～重力波と宇宙研究の今、そして未来～」と銘打って、2件の講演をお願いした。これを目当てに来られた参加者も多かったのではと思っている。

具体的な中身は次の2講演である。

(1) 重力波はどこからやってきたか？

～ガンマ線で探る重力波対応天体

大野 雅功 (広島大学 助教)

(2) 科学衛星 LiteBIRD で探る原始重力波

石野 宏和 (岡山大学 准教授)



図1 特別講演の様子

その後は各大学からのプレゼンテーションとなり、西日本各地の大学だけでなく、関東も含めた9つの大学教員の方々が、それぞれ各大学の魅力を熱く語られた(図2、表1)。



図2 各大学のプレゼンの様子

ポスターセッションでは参加した高校生はお目当ての大学のポスターを次々と回り、

それぞれの教員とほぼマンツーマンでじっくりと話を聞くことが出来ていたようだ(図3)。



図3 ポスターセッションの様子

表1 参加大学、参加者数

参加大学	工学院大、岡山大、岡山理科大、 広島大、徳島大、香川大、愛媛 大、高知工科大、兵庫県立大
参加者数	高校生：12名 引率等一般の方：13名 大学・実行委関係：16名

### 4. 今後について

今回は高校生の参加人数が前回よりもかなり多く、12名であった。中四国地区在住の天文を学ぶことを目指す高校生達に、中四国の大学でも十分に天文を学ぶ環境があることを認識してもらい、折角のチャンスを無にさせないようにしなくてはならない。今回は岡山県内公立の各学校に案内がしっかりと回って、そこそこの人数の生徒が参加してくれた。今後も広報の方策と日程の設定とが課題に挙げられる。次回は香川で開催する運びとなり、高校生が集まりやすい日程として、6月開催が予定されている。